

酒々井町郷土研究会会報

第8号
昭和53.10.14
発行
酒々井町郷土研究会総務部

本佐倉城

歴史と郷土と一番関係の深いものは何だろうか。考える時、それは千葉氏との関係であらうと思えます。

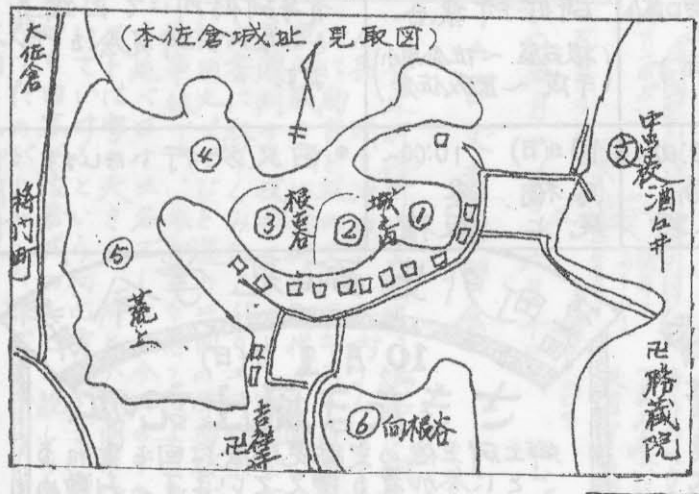
相京晴次

千葉氏は別掲系図の示すように平氏の出であります。歴史上有名な平清盛・重盛・平将門等と祖先は一つであります。

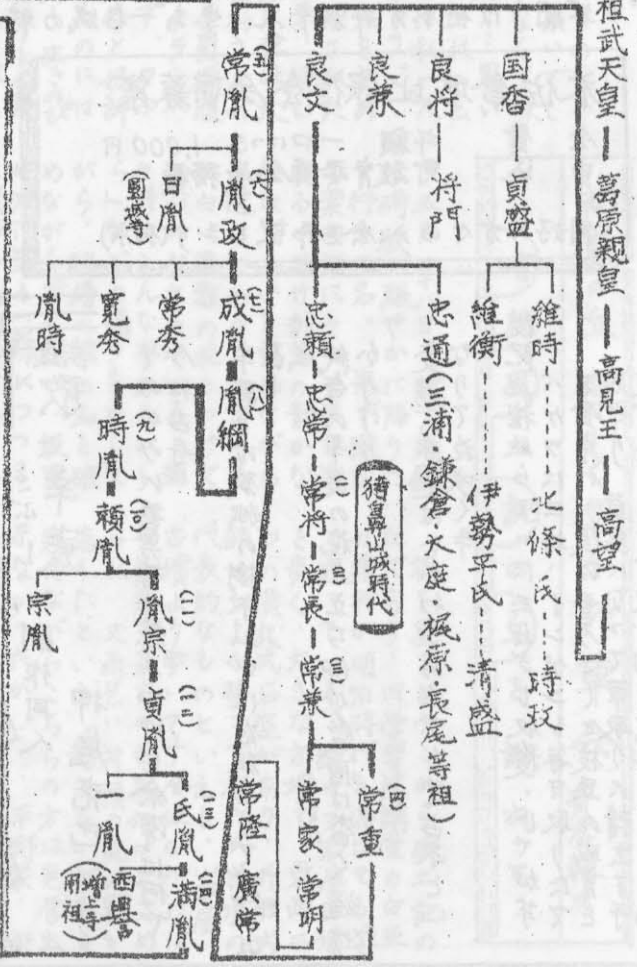
千葉氏前記
782 S 1031
桓武天皇から平忠常までの時代です

千葉氏が下総地方を領有しての期間は五百有余年でありました。酒々井町の古い寺院、神社等はみな千葉氏と何等かのかわりあいをもってまいりました。私達の祖先連もみな千葉一族の祖先達とみかた千葉氏に族をいけその家臣団から源と発して酒々井町に居ています。前号に酒々井町に三百年以上は千葉氏と名を冠して居る部は千葉氏縁故のものと考ええてよいでしょう。本佐倉城は千葉氏の居城でありました。本佐倉城を知るためには千葉氏の歴史を知ることが先決であります。そこで、千葉氏の歴史を少しのぞいてみましょう。

千葉氏の歴史を大別すると「千葉氏前記」「猪鼻山城時代に分けることが出来ます。



千葉氏系



千葉氏は「平忠常の乱」の主人公、忠常の子常将が初代となつています。忠常は長元元年(一〇二八)香取郡の東大友城を居城として乱を起し、下総、上総、安房の国を攻めおとし三年間勢威をふるいました。長元四年源頼信が征討使に任命されて下向してくるに及んで、戦乱による農村の疲弊、戦争の不利等を考えて、戦わず頼信に降伏し、頼信に従って京都へ

向かう途中美濃国にて病死しました。常将は頼信の尽力によって罪を許されて千葉に住み、「千葉氏」と名乗りました。千葉氏は平氏でありましたが、源頼信の恩顧をうけて代々源氏に隨身することになりました。

猪鼻山城時代
千葉氏初代常将は東大友城(香取郡)大佐倉(土気)等に居城を建てていましたが、千葉に移り、(大友)

千葉氏と名乗ったとい... 以後千葉氏は代々源氏に... 武功があり下総地方を支配... 源頼朝が石橋山の合戦に... 敗れて安房へ逃れ再興を図... 頼朝は千葉に迎えて更に鎌倉に... 頼朝と千葉に迎えて更に鎌倉に... 頼朝と千葉に迎えて更に鎌倉に...

本佐倉城時代

千葉氏家系 胤直とて... 加藤胤直は十七代千葉介と名

本佐倉城は千葉氏の居城とし... 下総地方の中心... 千葉氏の居城として... 千葉氏の居城として... 千葉氏の居城として...

本佐倉城の構造

本佐倉城は本佐倉字城... 台地、根吉屋、荒上、向根吉屋の... 台地、根吉屋、荒上、向根吉屋の... 台地、根吉屋、荒上、向根吉屋の...

本佐倉城址保存会 会員募集 会費 年一回3,000円 申込は教育委員会まで

城郭研究家の伊礼正雄氏による... 城郭研究家の伊礼正雄氏による... 城郭研究家の伊礼正雄氏による...

倉	佐	本
城	田	城
異	鐵	城
聞	田	城
	万	城
	五	城
	五	城
	五	城

本佐倉城二十六代城主邦胤は剛復の人であつたらし
 一。天正十年織田信長、武田氏と之し其の將、滝川一益ととして上野と鎮せしむ。信長十葉氏は関東の旧族なるを以て邦胤を贈りて力と一益とを協せて関東と平定せんことを依頼す。邦胤信長の書使の甚驕れると怒り、そのがみと戻と切りて之を放逐せり。然しながら今思へば他愛ない次の一件に依りて、あたら若冠二十九才と以て、絶命した。邦胤古戦録身統軍記より抄す。

干葉介起り上りて、憎ま小作めば所為と唯一声申されし故、中村頼助、設楽左衛門、岡崎ついで走り入り見れば、邦胤朱殿(無名)になり、鉄田めを脱さず打捕んと衝々に、捨て事切れたり。家人等仰天して八方に手合せとなし、採し取むれ、夜中のごりける。鉄田は、夜中のごりければ、城門は閉ざされ、暗さは暗し、浅れ本でん方なく物蔭にかくれ、曉天に到り、塚と築り、越え、菊間の台まで落し、中々逃ぐるべくなかり、かは、腹接切つて、死せにけり。

「房統軍記」には草刈村にて追手に斬り殺され、獄門に烏けたりとある。

以上今思へば、放民が原因といふ些細な事にて貴重な城主といふ習の二人の命が失われたといふ本佐倉城内でのできごと。

郷土研回誌

- 七月二日(日) 野草観察会(土名) 飯野親善・佐倉富菊園 吉川英治歌碑等を見学 白石さん木村さんの元 気まに驚くばかり。
- 七月二十三日(土) 古文書学習会(昼) 郷土史講座(夜) 「下流の牧場」と題して佐倉七牧の講義と映画
- 七月十六日(土) 石仏調査 上本、本佐倉方面
- 八月十三日(土) 石仏調査 柏木、下岩橋方面
- 八月十九日(土) 古文書学習会(昼) 郷土史講座(夜) 「江戸時代の文化」
- 九月二日(土) 古文書学習会(昼) 郷土史講座(夜) 「佐倉藩制について」 映画「城下町佐倉」
- 七月八日(土) 古文書学習会(午後一時半より) 青柳家所蔵「佐倉御城御代々之覚」 参加者 十三名 いつもの顔ぶれ揃う。
- 八月五日(土) 郷土史講座(午後七時半より) 檀谷健蔵先生「干葉果の誕生」
- 八月六日(日) 古文書学習会(十二名) 今日より新テキストに入ります 島田家文書「寛政二年野馬御用日記」 郷土史講座 須田茂先生「江戸時代の政治と産業」
- 九月十日(日) 野草の会(東酒々井、尾上方面) 東しすい、つくし子供会、参加同行 夏休みの植物採集に子供達も虫刺されと戦いながら、コマツナギ、ヤマホトトギス、イヌホウズキ、等、名前と現物とに大汗。
- 九月十五日(金) 石仏調査 馬橋、尾上、墨方面と回す
- 九月十六日(土) 古文書学習会「島田家野馬御用日記」 郷土史講座 小倉博先生「江戸時代の信仰」

郷土研行事計画 会員外の方の参加もどうぞ!

	10月	11月	12月	備考
野草会	22日(日) PM1:30~ 研修所集合 佐倉東小学校 干成団地 京成佐倉駅	11日(土) PM1:00 京成うい駅集合 雷電為右工門墓 太田圖書基 白井城地	年の瀬の忙がしい頃です。お休みにしましょう。(七草で新年を!)	雨天中止です
古文書学塾	14日(日) PM1:30~ 研修所	18日(木) PM1:30~ 研修所		
石仏調査	お休み	お休み	10日(日) PM13:00 西蔵院集合	雨天中止です
見学会	(町外) 11月14日(火)と17日(金) (予定見学コース) 府馬の大クス 大原幽学遺跡 飯岡光台寺(助五郎の墓) 刑部山 AM 8:00 後場集合 会費 1,000 (昼食用意) 申込 教育委員会 96-1171		(町内) 11月19日(日)雨のとき → 26日(日) AM 9:20 青年研修所 集合 経胤寺 ~ 神明社 ~ 根古屋(昼食) 本佐倉城 ~ 浅井忠郎跡 ~ 口の宮 桔梗塚	

短歌

史跡見学の折
伊藤左千夫生家詠

波騒ぐ海とそびらの遠見には
丘かよまじう山の連なる

二十二年金萱用とふとまうに
上乗したる左千夫と思ふ

うきまにに昔の家は小唄うに
煮焚きとらる煤かむる初木

かかると今も少くなりしかな
土間広くして農具置かるる

水張りの畦の声をききながら
本を讀みたる夜ありぬべし

夜陽に文字増しの嘆く頃に来て
藪蚊に腕と刺されしもあはれ

土間に立つわれらの前に忽然と
左千夫大人去て来そつなり

柿がれたるあとも清くさ庭早て
石に彫られし半剣の歌

左千夫生家一目見ると梅雨のあめ
中休む時に音らまらつ

吹くたくて吹く風なると波立ち
箱は深着くいとまもあらず

創作同人
押展克己

新会員紹介

- 162 作田 歳之
- 163 中台 とり
- 164 北島 水子
- 165 藤崎 ゆき子

たくさんの方々の入会
有難うございませす
よりよい研究会活動
を続けるために事務局
一同がんばります
ご支援の程お願い致します。



秋
スポーツの秋、食欲の秋、燈下親
しい秋、一年中一番旅行もス
実する季節です。体育祭、旅行もス
ろい大会、ピクニック、文化祭、美術展
秋の会、秋のお祭り、何となく平
謝り、やっぱりの思い、苦み上げる。
今回は「本佐倉城特集」の感あり、
オナラが原因で殺されてしまった那胤公
の詠いがかがてしたか、次号は〇〇公の詠
雨の中におるえろ小犬をひろって来
た息子の頼むなしく可愛いわす犬
はかい主と求めて旅におす事になうた。
二度目の見送りも覚悟をきめたのかそ
れつきり姿を見せる事になくたのかそ
れ、犬の詠をする息子の両の目は涙にあ
雨の降る頃の悲しい想い出